

## 古代のムラ、上林集落の前身？

# 上林遺跡

かんばやし



調査中のようす

上林遺跡は、現在の上林集落の南側に広がる古代のムラの跡の遺跡で、時代は弥生時代と奈良・平安時代（8世紀後半～9世紀前半）です。調査地内では、<sup>たてあなたでもの</sup>竪穴建物1棟、<sup>ほったてばしらたでもの</sup>掘立柱建物8棟が見つかり、生活道具である土師器の甕などの土器が出土しました。また、弥生時代前半の土器や石製品も発見しました。調査地内では確認できませんでしたが、近くにムラがあったと考えられます。

主な時代	奈良・平安時代
場所	上林
調査年度	平成9・25年度

